

## 主な取り組み

### 高等学校で創業についての出張授業を実施

当協会では、日本政策金融公庫、十六銀行、岐阜市と連携し、岐阜市立岐阜商業高等学校を訪問して、創業に関する授業を行っております。この授業は、岐阜市が創業支援事業の一環で行っており、若者の創業機運醸成を目的として令和元年度から開催しています。

生徒達はマーケティングコースに所属する2年生41名で、10グループに分かれ、それぞれビジネスプランを作成します。

令和3年度は、第1回目が令和3年5月21日に開催され、公庫よりビジネスアイデアの発想やビジネスプランの考え方についての講義が行われました。

第2回目は6月11日に開催され、当協会からビジネスプランを考える上で必要な収支計画のしくみや作成方法、経営資源の有効な使い方について、2時間の講義を行いました。講義はスライド（PowerPoint）を使用し、なるべく具体的な事例を用いながら、生徒達には経営者になったつもりで考えてもらうよう話を進めました。1時限目の収支計画の作成については、売上高の算出方法から必要な経費の求め方について、生徒達と一緒に考えながら、一つのシートを埋めていきました。2時限目の経営資源の有効な使い方については、当協会が過去に保証し、現在も営業を継続しているラーメン店の経営者にインタビューを行い、創業のきっかけやこだわりポイントに加え、問題点をどのように解決していったのかを会話形式で整理し、事業を継続していくうえで必要な経営資源の使い方等について説明しました。

第3回目（7月16日）は、十六銀行によるマーケティングと商品開発についての講義が行われました。最後の第4回目（9月3日）は生徒達が作成したビジネスプランを、授業の中でプレゼンテーションしてもらう予定でしたが、新型コロナウイルスの感染者数増加の影響から対面での講義が中止となり、生徒達が作成したビジネスプランに対して、各支援機関の担当者がメールでアドバイスをを行いました。

生徒達は出張授業で得た知識を活用し、同年9月に開催された「高校生ビジネスプラン・グランプリ」に参加しました。これをきっかけに生徒の皆さんが創業に興味を持ち、創業が将来進むべき選択肢の一つに加われれば大変嬉しく思います。

